日本聖心同窓会

JASH だより

Japan Alumnae Association of the Sacred Heart

2022 No. 32

"Let us live together with the family of the Sacred Heart."

AMASC 2018-2022

姉妹校の祈るために集まる場所「聖堂」

茂仁香会　フランスから送られた祭壇の紋章

聖堂の全景

聖堂の祭壇

祭壇の紋章

お聖堂は札幌聖心25周年記念として改装されました。祭壇の紋章はフランス政府が20世紀初めの政教分離政策の際に、聖心会も1902年から9年間閉鎖され、続々と家具や書籍が運び出され世界中の姉妹校に送られた折に三光町に届き、その後札幌聖心創立時に送られたといわれています。聖母像と聖ヨセフのご像もシスター田口が中学生の頃にどこか外国から三光町を経て札幌に送られると聞いた記憶があるそうです。

（眞島 律子）

ドゥシェーン会　岩下家の聖堂から始まる歴史

この地で最初の聖堂は、温情舎を創設された岩下家の蔵を改築したものでした。聖心温情舎となって鐘（マリア・アメリア）を安置する塔やステンドグラスが美しい聖堂が作られました。これらは丘の下の校舎の時代です。丘の上に校舎が建った最初の聖堂は現在の寄宿舎の食堂にあり、鐘は塔ごと渡り廊下の上に移設されました。1960年に現在の本館の聖堂が完成し、2008年には全校生徒が集えるように改築されました。

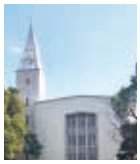
（高島 曜子）

1960 年に完成した現在の聖堂

左：岩下家の祭壇
上：本館建築中の現在の聖堂

小林みこころ会　優美な姿から町名が「塔の町」に

聖堂のステンドグラス



小林の丘に聳える白く美しい塔では、朝タイムキーパーと呼ばれる役割の生徒が 15 回鐘を鳴らします

現在の聖堂は建築家の竹腰健造氏が設計し、1965年に竣工しました。最大800人がお祈りできる広さで、大阪教区では2番目に大きなものです。優美な塔の姿は近隣への影響も強く、翌年には町名が「塔の町」に改められました。阪神大震災で被害を受けましたが、ステンドグラスはその年の高校卒業式に間に合うように修理され、今も小林聖心のシンボルとして、卒業生の心のふるさととして愛されています。

（中村 佳子）

宮代会　創立者に捧げられた精神的中心となる場

聖心女子大学の聖堂（聖心会渋谷修道院聖堂）は、建築家の竹腰健造氏が設計し、1959年に献堂式が行われました。聖心会の創設者、聖マグダレナ・ソフィア・バラに捧げられており正式名称を「聖マグダレナ・ソフィア聖堂」と言います。聖堂では、60年もの間、学生、教職員、シスター方、さらには卒業生などが集い、祈りを捧げてきました。時代とともに聖堂の役割も変化しましたが、「お御堂」（おみどう）は、キャンパスの中心にあって、その精神的な中心でもあることに変わりはありません。

（野本 敦子）

参考文献：「聖心キャンパス」219号掲載の「聖マグダレナ・ソフィア聖堂（大学聖堂）献堂60周年」加藤 和哉（キリスト教文化研究所所長・哲学科教授）

語学校・ISSH アラムネ

大学聖堂を利用し、9月に行うオープニングミサを始め、クリスマスの小学校コンサートと中高等学校コンサートを行っています。チャペルは美しい子供たちの歌声を心に響かせます。（Mayling Woo Clements）

高校生の春のコンサート
Spring Concert High School Choir

みこころ会　東京大空襲で奇跡的に焼け残る

寄付により修復された現在のお聖堂

1918年に建てられた最初の聖堂は関東大震災で倒壊。現在の聖堂は、アントニン・レイモンド氏設計のもと1928年に建立されました。東京大空襲の際、マザー、先生方の努力で鉄の防火扉を鎖して火勢を断ち切りイエズスの十字架のところで火は止まりました。その後、多くの卒業生、関係者からの寄付で修復されました。

（上野 愛子）

三光会

聖心女子専門学校で聖堂と言えば、卒業式を思い出す方が多いでしょう。これまでの感謝と別々の道を進む姉妹である同窓生の未来を共に祈った場所です。閉校してしまった今でも、私たちの帰る場所として存在する大切な心の拠り所です。

（矢野 康乃）

閉校前の卒業式や卒業ミサの様子

Message

JASH 新会長挨拶

日本聖心同窓会会長
ラウリア 佳子
(み 64・宮 33)

この度、村上直子会長の後を継ぎ、4月よりJASH会長を務めることになりました。重責に身の引き締まる思いでおります。

2年に渡るコロナ禍でも、村上会長はじめ役員のご努力で「JASHだより」はリニューアルされ、お世話になったシスター方の「シスターからのメッセージ」、国内8同窓会の他海外JASH会員の活動報告など、現在進行形の聖心会と各同窓会の様子が伺い知れる内容となりました。隔月の理事会も、リモートを取り入れるなど、新しい形式に移行しました。コロナウィルス感染症拡大は否応なく私達に、生活や習慣の見直しを迫りました。そんな時代でも人はやはり、温かい人間関係や自分の居場所を求めていると思います。同窓会はそうした場所を提供出来るはずです。JASHの役割は、国内の各同窓会を繋ぐこと、AMASCと連絡を取りつつ世界中の同窓生と連帯すること、聖心会のシスター方と共にみこころの教えを改めて考え、各自が実践して行く活動をすることと思います。今後も先達の築いたJASHの良き伝統を守りながら、新たな風も取り入れて行けます様に、微力ですが役員の助けをいただきながら懸命に務めて参ります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

JASH 会長退任挨拶

日本聖心同窓会会長
村上 直子
(み 59・宮 28)

「あなたはご自身がJASHの一員であることをご存じですか」を活動の合言葉として2018年にJASH会長をお引き受けした私はこの4年間、役員と共に皆様にJASHを身近に感じていただけることを目指し活動して参りました。残念ながら任期後半、世界的なコロナ禍に見舞われました。皆様の中には感染症により親しい方を亡くされたり生活が一変された方もおられることと思います。心よりお見舞い申し上げます。JASHも姉妹校同窓会も対面での活動の大半が中止となりました。また、それぞれの母校を取り巻く環境も厳しさを増し、各同窓会の皆様も心を痛められることが多い月日であったと存じます。感染症がいつ終息するのかは判りません。しかし、私たちは過去を懐かしむのではなく「新しい日常」に適応していかなければなりません。大半の同窓会が既にオンラインやSNSなどの新しいツールで新たな活動の道を広げられ、JASHもWebサイトの刷新、Instagramの活用など積極的に発信し始めております。同窓生同士の懐かしい再会によって生じるエネルギーをどのようにオンラインでの結びつきでも生じさせられるか、これから求められる同窓会活動の姿はどのようなものか等々、検討課題は多いですが、信頼申し上げるラウリア佳子新会長のもと、JASHも新時代にふさわしい活動を広げていただくことを期待しております。

JASH 名誉会長挨拶

聖心会日本管区管区長
シスター
宇野 三恵子
(み 54・宮 23)

「ただ一つの人類家族として、共に旅する者として、わたしたち共通の家である地球の一員として、夢を持とうではありませんか。」(回勅「兄弟である皆さん」)という教皇フランシスコの言葉が、最近、ずっと私の心に響いています。新型コロナ感染症との闘いが続き、閉塞感に満ちた現代世界の只中で、「夢を持とう」という教皇様の呼びかけにはとても迫力があります。今迄、当然だと思っていたものが覆されたこの時だからこそ、新たな生き方へと招かれているのを感じます。今こそ、世界の人々と力を合わせて、真に人間を大切にする希望に満ちた世界を造りだすチャンスなのではないでしょうか。

11月初めより一か月近く、26管区(40ヶ国)の聖心会の代表者が集まり、特別総会が開かれました。新しい時代を見据え、世界に広がる聖心会がどのような繋がりを持つ組織体となるか、また具体的にどのような形で神様から託された使命を果たしていくのか等、祈りのうちに模索する会議でした。感染症の拡大を避け、すべてオンラインで行われました。対面ではない限界を感じつつも、代表者が全体やグループで話し合い、時には個別に出会って分かち合うという体験を通して、これまでの固定観念は崩され、かつてない可能性の広がりを感じることができました。

社会状況の変化に伴い、日本国内の姉妹校も様々な課題に直面しています。そうした時代の只中で、創立者が追い求めた夢に私たち自身の夢を重ね合わせながら、同窓会の皆様と共に、新しい生き方を模索したいと願っています。

JASH 委員会活動報告

[資料委員会]

コロナ禍のため大学への入構制限期間中も、オンラインを利用して作業をおこない、12月に年表改訂版「日本国内聖心女子学院の歩み2018年度版」が完成しました。

聖心女子大学、グローバル共生研究所が主催する「緒方貞子さんと聖心の教育」展の準備委員会に参加して、資料の貸出を行うとともに展示パネルにてJASHを紹介しました。

資料委員会では寄贈して頂ける資料を、募集しています。ご協力をお願いします。

年表改訂版「日本国内聖心女子学院の歩み2018年度版」の購入を希望される方は、JASH HPからお申し込みください。
https://www.jash316.com/onlineshop/shiryo
価格:1部1,000円　送料別

(吉川 富久子)

[JASH-AMASC 委員会]

若い同窓生(ヤング・アラムネ)の同窓会活動への参加を奨励することを目指しています。今年度は基本的にオンラインで活動を行いました。聖心スピリットについて先輩から伺い、それを伝える動画コンテンツを企画し、今後配信していく予定です。第1回目は、中央大学文学部教授の吉野朋美先生(み73・宮42)です。どうぞ皆様お楽しみにしていらしてください。

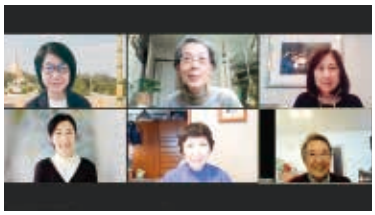
(王 玲華)

動画コンテンツ撮影中

Zoom定例会

[ホスピタリティ委員会]

今年度はTOKYO 2020の年でしたが、コロナ禍のため、昨年度に引き続き来日する聖心関係者をお迎えする機会がなく、「JASHの日」の茶話会も催せませんでした。定例委員会は主にZoomにて行いました。



(小泉 マヤ)

【2019年～2022年 JASHスタディグループ報告】

シスター岩井 × 日比谷潤子氏 特別対談

“聖心スピリットに想うこと”

当初のテーマ「10代の後輩たちに聖心スピリットをどう伝えたいか」より、私達自身が聖心スピリットをどうとらえ、聖心らしさを生きるかを考え、更に学んでいきたいと思いました。コロナ禍で中断していたスタディの集いを2021年6月頃より再開し、ズームにて話し合いを重ね、2021年10月30日（土）シスター岩井慶子（大学学長補佐）と日比谷潤子氏（学校法人聖心女子学院常務理事、前ICU学長）によるオンラインの特別対談が実現し、グループメンバーほかJASH会員50余名が参加しました。

対談より

聖心の教育現場の先生方は、シスターの少なくなる現状を見据えて、創立者の建学精神の継承を時代に即したものに変化させていく教育研究を盛んになさっておられます。研究の場である教育理念委員会は、現在第三期（各期3年）に入っており、彼らの研究成果は小中高姉妹校の教育現場で活用されています。「魂」を育て、「人材育成」でなく「人間形成」、「学力向上」に留まらず「知性を磨く」ことに重きを置いています。

Zoomでの当日参加者

Profile

シスター岩井慶子　P.6 に記載

日比谷潤子氏

幼稚園から聖心女子学院。みこころ会61回生。上智大学外国語学部フランス語学科卒業。ペンシルヴェニア大学社会言語学博士。2012年から2020年までICU国際基督教大学学長。現在学校法人聖心女子学院常務理事・カトリック女子教育研究所所長・生涯学習センター長兼務。

シスター岩井からのメッセージ

聖心らしさを表す言葉として最近使われる「聖心スピリット」は、創立者の言葉“Generosity”から来ており、「物惜しみしない心」私の言い方では「明るく損ができる」ことで、上から下とか、持っている人から持っていない人へと引き継いでいくというものではないと思います。知らずに実行できている卒業生には、明るく損をする活動に後輩たち、若い人達を巻き込んで頂き、後輩たちが一緒に働きながらこういう損も楽しいな、面白いなと思ってくださるといいですね。講演会や文献を通して、皆様（卒業生）だから発見できる学びを続けて頂きたく思います。

日比谷潤子氏からのメッセージ

聖心でないところの色々な場面で、「これは不公平です」という人が多いのですが聖心の卒業生はそれを不公平ととらず、私の好きな「天に宝を積む」という言葉と共に生きているように思います。世界に拡がるネットワークを持つ聖心ならではの特徴を活かして、オンライン化が進んだ今、海外の姉妹校生徒とのオンラインでの交流はかなり進んでいます。JASHとしても是非、世界の同窓会、時差の少ないアジアの聖心関係者との繋がりなどを通して新しいグローバルな地平を拓いて欲しいと思います。「時代は変わります。私達も変わらなければなりません」を意識し、誰もが持つ無限の可能性の翼を広げていって欲しいです。

紙媒体の「JASHだより」32号には、同時録画から制作した動画の限定公開リンク、およびリンクのQRコードが掲載されています（当 Webサイト上では非公開）。動画へのアクセス また 活字で読める「特別対談小冊子」をご希望の方は、JASH Webサイト「お問い合わせ」（右のQRコード）まで ご連絡ください。

（小澤 志津子）

TOKYO 2020

オリンピック時の新国立競技場

パラリンピック 男子車いすバスケットボールの様子

パラリンピックの金メダルとビクトリーブーケ（金メダルには点字の表示あり）

開幕前より催行に関しても喧しかったが、終わってみれば海外からも、コロナウィルス災禍の中で、日本はホスト国としてその決断と決行には賛辞と感謝が寄せられた。「案ずるより産むが易し」:“Fear often exaggerates danger.”聖心生のオリンピアン・パラリンピアン（アメリカ・エジプト・マルタ・メキシコ・オーストラリア）の大活躍をRSCJが連日Facebook上にアップなさっていらしたので一緒に大声援を送った。会場での観戦が叶わない事が多かったが、子供たちがパラリンピックをTVで観戦し、勇気や努力することの大切さを学んだと言う記事や、シニアのボランティアの方達も活躍したと言うニュースも多かった。世界中で多くの人々が様々な理由で差別を受け、大小の争いが絶えない中、やはりオリンピック・パラリンピックを挙行した意味は大きいと感じた。

シスターからのメッセージ

日本聖心同窓会（JASH）Webサイトに掲載されているシスターコラムを紹介します。

シスター
菅野 敦子

座右の銘・好きな言葉

Bequeath

If parents pass enthusiasm along to their children, they will leave them an estate of incalculable value.

By Thomas A Edison

親が子供たちに「情熱」を伝え受け継がすことができたら、彼らに計り知れない財産を残すことができるでしょう。

私がまだ教師として駆け出しの時でしたでしょうか。終生誓願前、専門学校で英語を教えていた時のことでした。私の英語のクラスの1つに私が御し難い一人の学生がおりました。時々厳しい眼差しで私を見つめ、授業中何もしていませんでした。或る時、私は彼女と何とか関わって話さなければならないと決心し、マグダレナ・ソフィアに助けを求め、祈りました。授業後、「私の授業に何か不満がありますか」と彼女に尋ねました。彼女は「シスターはいつも私ばかりを注意し、いつも厳しい顔で私を見ているからです」と私に抗議しました。そして、1週間後、授業が終わった直後に、彼女は私の所に来て、「シスター先週は御免なさい。実は私はシスターが私を嫌っていらしたと思っていたのです」と告白してくれました。振り返って見ましたら、私の心の中にも彼女が「苦手」と思っていることに気付かされました。私の心の中から**「あなたを受け入れたいの」**という激情のような愛の炎が私の心を突き動かしました。私はどのようにしたら子供に（人に）**「あなたはこれでいいのよ」**という優しいメッセージを伝えることが出来るのかと思案していました時、この「詩」に出会ったのです。**この詩こそ私に情熱を燃やすきっかけとなり、彼女（あの学生）に「計り知れない財産を残してくれた」**言葉と思い、学生たちに心を込めて読んだ詩です。以後この詩は、私のシスターとしての教師生活の支えとなってきました。

メッセージ

コロナ感染拡大はオリンピック・パラリンピック競技大会後、徐々に感染者の数が減少し、コロナ終息への細やかな希望の兆しとして見えてきたと思っているこの頃です。私たちは、ウイルスが人の「いのち」を脅かす怖さを経験し、マスク生活から早く脱却し普通の生活に（new normal）戻りたいという強い願いが、コロナ対策を積極的に実践できるよう促してきています。聖書では弟子たちが湖で命の危険を感じた時、イエスは「私だ。恐れるな」と言われています。私たちの中心がイエス・キリストにあれば、命の危険が迫っているこの時にこそ、この方に必死にしがみつきたくなるものですが、私は弱い者であって、弱い自分に戻ってしまうのです。しかし、イエスに「助けてください」と叫ぶ時、イエスはその時こそ喜んで「私にしがみつきなさい」と言われるのではないでしょうか。湖に吹きまくる嵐も、コロナも「恐れることはない」と私たちに呼びかけ続けられるイエスの声を聞きたいものです。

Webサイト掲載年月:2022年１月

Profile

名古屋港教会使徒職。聖心女子専門学校、不二聖心中学校・高等学校、寄宿舎にて英語、宗教を指導。聖心女子大学学生課、学生生活課に着任ののち、不二聖心中学校・高等学校にて英語、宗教を指導。退職後（2009年3月）現在に至るまで:「みこころの道」月例会（若者の集い・聖書講話）、「語ろう会」を大学内マグダレナ・ソフィアセンター（カトリックルーム）と学寮内で週1回開催している。

シスター
伏木 妙子

好きな言葉

主の慈しみをとこしえに歌います。私の口は代々にあなたのまことを告げ知らせます　（詩篇89）

私は小さいころから歌が好きで、家にいた時も毎晩のように皆でコーラスをしていました。懐かしい思い出です。

メッセージ

主のお恵みによって、私は今年1月29日に100歳の誕生日を迎えました。大寒の最中に京都で生まれましたが、100歳まで生きるとは誰が想像したでしょうか。楽しい家庭をいただき、修道院ではシスター方にいろいろお世話になり、ここまで来ましたことを心より感謝しております。

1998年から2003年までローマのトリニタ・デイ・モンティの修道院で、皆様に親しまれている「感ずべき御母」、廊下いっぱいに描かれた「だまし絵」、教会内の小聖堂の絵などの説明係をさせていただき日本からの卒業生にもお会いしたことをありがたく思い出します。北京に５年、ローマに５年、そして京都に生まれたことを考えれば、世界の三大古都で生活できましたことはとても大きなお恵みでした。

現在コロナウイルスの蔓延による事態に心を痛め、私どもは毎日祈っております。基本的な予防法をしっかり守って、周りの方にうつさないように、うつらないように、またコロナに罹った方々に何かお困りのことがあれば、卒業生としてお手伝いできることを考え、実行していただければ嬉しいと思っております。

Webサイト掲載年月:2021年９月

Profile

日本:小林聖心女子学院、聖心女子学院、不二聖心女子学院、札幌聖心女子学院。
国外:北京輔仁大学（1943～1945年）、台湾聖心女子中学、台湾淡江学院（1963～1973年）、北京経済貿易大学、北京北方工業大学、日本語講習所（北京人民日報内にある）。台湾では全島を巡って原住民族（高砂族）に布教をしておられた神父様の助手。高砂族の殆どは日本語を流暢に話した（1990～1995年）。

シスター
亀岡 厚子

座右の銘・好きな言葉

心配は神を知らない人の言葉

若い頃から、マリア様のお言葉「フィアット」（主のみ旨のままに）を大切な言葉にしていました。6年前、渋谷第1修道院で大先輩のシスター達との生活が始まり、高齢者への心配からか、「フィアット」と祈っても落ち着かない自分に気付きました。そんなある日、聖心会のSr. Buszkaの言葉、「心配は神を知らない人の言葉」に出合い、思わず、「主よ、ごめんなさい。心配して」とお詫びしました。省みるに、神から見放された事はなく、出合った苦しい事は、後になると神への感謝に変わることを知り、全ては神の計らいの中に在ると心底分らせていただきました。

メッセージ

高齢者向けコロナワクチン接種について役所に相談した際、「老人施設」であれば受けられるサービスが、役所の管理外である「修道院」ではスムーズにいきませんでした。しかし、相談電話から1か月余り過ぎた時、役所から「修道院さんですね、今も困っておられますか?」と心配してくださる電話がかかり、助けられました。コロナ禍で、管理者側が提示する条件から漏れて、心理的、経済的に追い込まれ、生き辛くなっている方が多いと想像します。聖心で学んだ困窮者への心配りを忘れず、「今もまだお困りですか?」と尋ね、寄り添う勇気を持ちたいと願っています。

Webサイト掲載年月:2021年12月

Profile

聖心女子学院教諭・寄宿舎舎監長、小林聖心女子学院教諭、札幌聖心女子学院教諭、聖心専門学校非常勤講師、聖心会修練長などを歴任。

シスター
長野 興子

座右の銘・好きな言葉

イエスが［何がして欲しいのか］と聞かれると［**主よ 目が見えるようになりたいのです**］と答えた盲人のように、私もまた［**主よ 目が見えるようになりたいのです**］と願います。見ている、分かっている、知っていると思い込んでいますが、本当には見えていないのです。この年齢になってこのイエスとのやり取りが身に迫ります。

メッセージ

コロナ感染症の一番の大きな影響は距離を置く、離れることです。お見舞いさえ許されません。社会生活においては時間や距離の制約に始まって、お互いの関係を隔たったものにしています。今私たちは、どれほど触れ合う関係、声と声が響きあって共鳴しあう関係が大切なものだと実感します。今はこの関係を心の中で温めなおして感謝の気持ちを膨らませる時なのでしょう。

Webサイト掲載年月:2022年２月

Profile

1969～71年札幌聖心女子学院、71～76年小林聖心女子学院、78年札幌聖心女子学院を歴任。1979～90年小林聖心女子学院に勤務し、そのうち、1984～90年は校長。1993～2000年聖心女子学院に勤務し、2007～13年聖心会管区長を務める。

閲覧しやすくするため、印刷版とはページを入れ替えています。

シスター
岩井 慶子

座右の銘とメッセージ

コロナと環境破壊はつながっているという説を読み、なぜかピンときて考え始めました。創世記3章のアダムとエワが蛇にそそのかされて神様から食べてはいけないといわれていた木の実を食べたという話です。勝手に解釈して考えています。神様の言ったことは本当ではないと蛇に言われて(3:4)あらためてその木の実を見たエワに「その木はいかにもおいしそう」(3:6)で取って食べたと書かれています。「いかにもおいしそう」、これは今の時代で言うと、いかにも便利そう、簡単そう、やりやすそう、健康に良さそう、楽そう……ということになるでしょうか。私たちの生活は、電気、水、プラスチック、紙等々をふんだんに使う便利で簡単で清潔なものになりました。結果として、森は激減し、山は削られ、海や川は埋め立てられ、動物たちは居場所を失って人里へ出てくる、等々、人間にだけ「おいしそう」な方向へ動いてきました。これは簡単には変えられません。聖母訪問会という修道会ではラップを使わずにタッパーを使うようにしているというので真似してみようと思いましたが、これがなかなか面倒なのです。木の実を食べた後、アダムとエワは、それまでは恥ずかしいと思わなかった裸を恥ずかしいと感じるようになり(2:25、3:10)神様を「恐ろしく」思うようになり(3:10)ました。感覚が変わってしまいました。今、この地球環境を本来の姿を大事にするように何とかしなければならないのではないかと考えています。幸いこの章には救いの約束があります(3:15)。

Webサイト掲載年月:2021年5月

Profile

不二聖心女子学院、1度目は高等科1年担任、2度目は校長、聖心女子学院高等科3年担任、聖心女子大学学寮部長、聖心会総長補佐、日本管区長、カトリック女子教育研究所、生涯学習センター職員、聖心女子大学学長補佐。

シスター
穎川 政子

座右の銘・好きな言葉

いつも喜んでいなさい、絶えず祈りなさい、どんな時にも感謝しなさい
(テサロニケの信徒への第一の手紙5:16-18)
世の終わりまで、私はいつもあなたがたと共にいる
(マタイ28:20)
FIAT おおせのごとくわれになれかし
(ルカ1:38)

メッセージ

コロナ禍で非常事態宣言が続く中、特に医療関係の方々に感謝です。また、さまざまな状況で困難な生活を強いられている方々のことを心に留めたい。一人ひとりの命を守るために、個人として今おかれている場で出来ることをしていきたいと思っています。カリタス南相馬もボランテイアの受け入れを中止、屋外活動等もキャンセル。高齢の方達は楽しみにされているさまざまなサロン活動もキャンセルになり、寂しい日々を過ごされています。人と人との関わりが少なくなっていますが、今はインターネット、スマホの時代。聖マグダレナ・ソフィアが今ここにいらしたら、おそらく日々、メールを通して多くの方たちに励ましの言葉を送っていらっしゃることでしょう。家にいて出来ることなので、ITを活用して人と人との関わり、つながりを大切に出来たらよいと思います。2021年3月で東日本大震災から10年ですが、復興はまだまだ。コロナが収束しましたら、ぜひ、南相馬にいらしてください。

Webサイト掲載年月:2021年3月

Profile

1969年聖心会入会。不二聖心女子学院、札幌聖心女子学院、聖心女子学院で英語、宗教を担当。1991年札幌聖心女子学院、1996年聖心インターナショナルスクールで校長を務める。2008年に退職後、聖心会日本管区顧問。2015年から福島在住。

シスター
山崎 渾子(みなこ)

座右の銘

今日も、父と子と聖霊の、ダイナミックな三位一体の愛の交わりの内に、私も共に居させてください。そして私の魂をみこころの愛で満たし、聖霊によっていつも主のみ旨を行うことができますように

メッセージ

●いろいろな聖心(せいしん)の学院で、皆様に出会ったことを、本当に感謝しています。「貴女にお会いできて嬉しかったです!」

●「つながっていなさい」聖マグダレナ・ソフィアの祝日に朗読される聖書(ヨハネ15章)は「わたし(イエス様)はブドウの木、あなたたちはその枝。……わたしにつながっていなさい」と言われています。わたしたちの生きる命は、つながっているこのお方と共に生きることなのです。

●聖心スピリットを持つ聖心ファミリーは、決して〈排他的なつながりではありません〉。地球市民としての共生の精神です。それは裂かれ、開かれたイエス様のみこころの愛に応えて、自分の人生を生きようとするわたしたちの生き方です。コロナ禍の時代にあって、コロナに敗けずに、より早く、広く、静かに、他の人々とつながること。そして聖霊の息吹を闇の中にある人に、自分にも、苦しみ悲しむ人々にも、この絶望の向こうに、「わたしにつながっていなさい!」と言われたお方がおられることを信じ、希望があることを伝え、見つける役割を、自分らしいやり方で、果たしていくのです。

Webサイト掲載年月:2021年2月

Profile

1965年聖心会入会。不二聖心女子学院、小林聖心女子学院、韓国聖心女子大学(春川市)、札幌聖心女子学院、1979年校長、1987年聖心女子大学、史学科(日本史教授)等を歴任。2008年定年退職後、聖心女子大学キリスト教文化研究所所長、2011年聖心会裾野マリア修道院(黙想・山の家)担当。

シスター
山下 まち子

座右の銘

座右の銘とは言えませんが、年齢に応じて、大切にしてきた言葉があり、その一つが小林聖心女子学院入学後、初めて聖マグダレナ・ソフィアについて知り、そのお言葉をいくつか習ったなかの**「神様をお喜ばせするもので小さすぎるというものは何もありません」**です。私は、自分は大きなことはできないけれども、小さなことでも神様が喜んでくださるのならやらなければと思い、実行することに子どもとしてのささやかな喜びを感じていたようで、それは今でも大切な言葉です。

人生のさまざまな場面で聖書の中の特にキリストのお言葉が現実味を帯びて日々の生き方を支えてきたことは確かです。私を私としてありのままで愛して下さる神様がなさることは、すべて私への愛からであるというごく単純な神さまへの信頼をいつの間にか持つようになり、『私は世の終わりまで、いつもあなた方と共にいる』というキリストの御言葉が、身近な人との別れや、突然襲う自然災害、思いがけない悲しい出来事、厳しい状況に直面したときなど、私を励まし勇気づけ前進する力となりました。

メッセージ

今、新型コロナウイルスが深い悲しみ・苦しみで世界を覆っていますが、皆様は程度やその種類の違いこそあれ、それぞれが思いがけない現実を受け入れつつ、先の見えない将来への不安を抱いておられることでしょう。修道院では毎日コロナ感染症に苦しむ人たちやその方々の医療活動などに励んでおられる方々のために祈っています。

フランス革命後の社会を立て直すために、愛に生きるしっかりとした女性の教育をめざされた聖マグダレナ・ソフィアは、今、この社会が変容を迫られているとき、私たちが何をするべきかを示唆する言葉を残してくださっています。「これらの子供たち(つまり聖心学院で学ぶ子どもたち)を通して世の中に神のみ心の力が花開くように」という聖心会の教育の目的を表す言葉です。神のみ心の力とは愛の力です。この言葉をどうぞゆっくり味わい、このコロナの時代に私たちには何ができるかを共に見つけていきましょう。

Webサイト掲載年月:2021年4月

Profile

1967年の初誓願以降、不二聖心女子学院勤務、1969年から2002年まで途中5年間を除いて小林聖心女子学院勤務、その間12年間は校長。2002年から8年間、学校法人聖心女子学院理事長。2005年からは聖心女子専門学校校長兼務。2018年聖心女子専門学校閉校後、聖心会日本管区アーキビスト。

シスター
林 千鶴

好きな言葉

疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。わたしは柔和で謙遜な者だから、わたしの軛を負い、わたしに学びなさい。そうすれば、あなた方は安らぎを得られる。わたしの軛は負いやすく、わたしの荷は軽いからである　（マタイ11:28-30）

私たちは毎日喜びや楽しみと同時にさまざまな苦しみや悲しみ、悩みなどに出会います。それが故に日々恵みを頂き私たちの心は成長していくのですが、どんな時にも私とともに歩み、支えてくださるこのイエス様のことばは、私をいつも慰め、励まし、勇気づけてくれるものです。

メッセージ

コロナ感染拡大から1年半、その終息の可能性も見えないままオリンピック、パラリンピックは無事に終了しました。特にパラリンピックでは大きな障壁に立ち向かい乗り越えてこられた方々のうちに見られた強さに心を揺さぶられました。この感激を目にした方々は、必ずやこれからの社会がもっとお互いの違いを認め、多様性を尊重しながら助け合って歩んでいくようになることを確信しておられることと思います。この華やかな行事と競うかのようにコロナも猛威を振るっていました。もう殆どの方がワクチン接種を受けられたと思いますが、社会の中で忘れられがちの人たち、とても弱い立場にあって取り残されている人たちへのワクチン接種がとても気になり祈っています。

「マスク着用、手指消毒、うがい」に慣れ、気がつけば以前とはずいぶん違った日々を過ごすことになっている私たちに今、創意工夫、チャレンジ精神、忍耐力などが求められているのではないでしょうか？年齢にかかわらず、今まで自分がしてみたことのなかったこと、苦手だと思い込んでいたこと、あまり気乗りがしなかったことなどに、勇気をもって取り組んでみることで新しい世界が開け、視野が広がり、受容、共感、楽しむ心が深まり、それが神様のやさしさ、友だちの思いやり、心遣いなどに敏感になることへとつながり、お互いに豊かな心で生きていくことができるのではないかと思いますがどうでしょう？

Webサイト掲載年月:2021年10月

Profile

不二聖心女子学院小学校（1967年）、聖心女子専門学校、不二聖心女子学院中学校・高等学校・寄宿舎、聖心会管区本部秘書室、聖心女子学院高等科、中等科、小林聖心女子学院中学校・高等学校に勤務。2021年４月より聖心会渋谷修道院（第１修道院）。

シスター
奥井 博子

座右の銘

私はぶどうの木　あなたがたはその枝である……私の愛にとどまりなさい
（ヨハネ15:5－9）

創立者聖マグダレナ・ソフィア・バラの祝日のミサで読まれるこのみ言葉は私の心の中で、特別な位置を占めています。このみ言葉との心の奥底での出会いがあったのは、1974年の終生誓願式直前の裾野での研修会の時でした。一生を神に奉献するということの重大さに緊張しきっていた最中です。ある午後、散歩をしていて、当時農園にあった小さなぶどう畑が目に留まりました。その途端、ぶどうが豊かに育つためにはぶどうの枝はしっかりぶどうの木にくっついていなくてはという言葉が響いたのです。しっかりつながっていると、樹液が木全体に流れていく、そのように、私が神様にしがみついていくと、神の愛の樹液が私の身体に流れていくのだ、その愛の力強さによって私は奉仕することができるのだ、と確信しました。それまで、自分の愛の小ささを嘆いていた私の姿勢の方向転換がそこにありました。その後、山あり谷ありの生活が私を待っていました。時には絶望感に襲われたこともありました。しかし、必ず戻っていったのはこのみ言葉でした。

「私の愛にとどまりなさい。」

そのたびに勇気と希望が湧いてきて、前進することが出来ました。

メッセージ

コロナ禍の自粛生活が長く続いたこの1年を振り返りますと、答えがすんなりと出ない状況に忍耐した日々であったことがまず頭に浮かびます。同時に、計画通りにいかなくても驚かずに再考する知恵も学びました。このところ、聖心会日本管区のアーカイブスのお手伝いをしています。113年の聖心会の歴史を鳥瞰図で眺めるように読むと、人間の手を超えた神のご計画の不思議さに圧倒されてしまいます。今日の私たちの生活もどういう神秘の中にあるのでしょうか。焦らず、祈っています。

Webサイト掲載年月:2021年８月

Profile

不二聖心女子学院、聖心女子学院、小林聖心女子学院、札幌聖心女子学院にて教諭を務めた後、不二聖心女子学院、聖心女子学院にて校長を務める。

シスター
井上 千寿代

座右の銘

たがいに愛し合いなさい　（ヨハネ13:34）

小学校５年で、聖心女子学院に編入して、温かいクラスの愛をいただき、洗礼へのきっかけになりました。

メッセージ

マザーバラのお言葉に「世の中を変えていく人になるように……」とあります。２年前に帰国し、コロナ禍のお陰で、ふと気づいたことがあります。インドネシアで28年間の滞在の折、緒方貞子様、曽野綾子様、その他、多くの卒業生にお目にかかる機会をいただきました。いかに多くの子供たち、村人たちに生きがい、喜びを与えてくださったかを今しみじみと思い起こしております。それで、いくつかの出来事をお伝えさせていただきます。

７歳ごろから、自分のためにだけ、お金稼ぎをしていたエディ君は、アチェの津波の後、トラックの運転手としてボランティアしていました。ある日、帰り道、砂煙の向こうに、かすかに、家族３人がのったバイクが走って来るのを見つけました。道が狭いので、事故になると気づき、わざと、畑に突っ込み、その家族の命を救いました。エディ君は、責任を取って、NGOを辞めました。

マンシュール君は、12歳の時、電車事故で、片足をなくしました。友人に侮辱されて、彼を殺してしまい、刑務所に入りました。一年後、仮出所しました。その後、勉強をはじめ、34歳で、大学（法学部）を卒業しました。卒業後は、肢体不自由の人々の為にNGOをたちあげ、助けています。

ジャカルタの川沿いや、お墓に住む子供たちには、移動図書ができました。子供たちは、大喜び。将来が楽しみです。

フロレス島のムバタ村では、以前、高校生は、遠くのボロンという町で、勉強するのが普通でした。ところが、2016年に、ベルナルド神父により、リーダーシップ養成の全寮制の高校ができました。ひと月もすると、ある父親が、「神父さん、娘が、変わった。きちんと挨拶するようになった。」と大喜びで報告にきました。次第に村中に、活気がでてきました。この裏には、奨学金、図書の購入、有機農業へのサポートというところで、JASHのみなさまの寛大な、大きなご協力があったお陰なのです。確かにマザーバラが期待しておられる、「世の中を変えていく人になるように……」という熱い願いの実現を目の当たりに見せていただきました。ありがとうございます。

Webサイト掲載年月:2021年７月

Profile

聖心女子大学、聖心女子学院、小林聖心女子学院、使徒職:アトマジャヤカトリック大学、ナシオナル大学、FAKTA（NGO）

シスター
岡崎 淑子

聖書の中の好きな場面

イエスのもとに集まった5000人の群衆を見て、弟子たちは各自で食物を探させればよいとイエスに提案しました。しかし、イエスは持ちあわせの5つのパンをさいては弟子たちから人々に配らせ、皆が食物を得て満腹した後、パンの残りは12の籠に一杯ありました。イエスが渡されたパンはぎりぎりの量ではなくて、こんなに余るほどでした。（ルカ9:10-17）

メッセージ

［新型コロナウィルス問題について］

「新型コロナウィルスは、人間に向かって、『あなたたちはその生き方を続けていってよいと思っているのか』と人間に挑戦している」という言葉が心に刺って忘れられません。人間のいのちを守るためには、ウィルスを撲滅しなければならない一方、ウィルスからのメッセージは生かしていかなければなりません。このまま続けていってはならない生き方とは、私の日々の生活の中のごく小さな習慣であり、どうやって手をつけていいかわからない途方もない仕組みでもあります。一人ではとてもできないことも、対話や工夫によって、方法をみつけて実行していかなければと考えています。ウィルスからの挑戦は決して無視できません。

［JASHの皆さまにむけて］

皆さまのご努力と協力によって、日本の聖心で学んだ経験を共有するメンバーの絆が強められ、世界の聖心にも繋がるさまざまなプロジェクトが実現されてきたことに、心からの感謝と敬意を表します。聖心の生徒・学生たちのためにお尽くし下さった先生方や職員の皆様への感謝を常に忘れないでいたいと思います。

Webサイト掲載年月:2022年3月

Profile

聖心女子学院、不二聖心女子学院、小林聖心女子学院、聖心女子専門学校で、音楽、英語、宗教を担当、聖心女子学院で高等科主任を務める。聖心女子大学で、アジアの文化、世界の音楽、フィールドワーク等の授業を担当。マグダレナ・ソフィアセンター長、学生部長、副学長、学長を歴任。民族音楽学の授業・指導を、東京芸術大学、東京外国語大学、上野学園大学、総合研究大学院大学等で担当。この際もマグダレナ・ソフィアの教育理念を基本としたことに変わりはありません。

シスター
田嶌 淳子

座右の銘

座右の銘は特にありませんが、好きな聖書の言葉は**「土の器」**（2コリント4）や**「渇きを覚えている者は皆、水のところに来るがよい」**（イザヤ55:1）です。人間の弱さに寄り添う神の慈しみが感じられます。

メッセージ

コロナ禍の日々が思いのほか長く続き、自分の中に起こる波に気付かされます。恐怖、困惑、無力感、いらだち、エネルギーの低下、批判心、怒りなど。この中でいかに祈りと信頼の思いをもち続けるか、いかに他者への思いやりと支え合いの姿勢を保つかが、大きく具体的な課題です。この状況下で自分としてできる事は何か、小さいことでも、あるいは橋渡し的な役割でも構わないので、見つけて実践していくことが大事です。いつも目を外に向けて、頭と心と手を使うのが聖心らしい生き方です。

Webサイト掲載年月:2021年6月

Profile

聖心女子学院、小林聖心女子学院、聖心女子専門学校、聖心女子大学英文科で教職につき、大学院や学務部と学生部で管理職に長年携わりました。

シスター
新庄 美重子

座右の銘

マリアはこれらの出来事をすべて心に納め思い巡らしていた（ルカ2:19）
母はこれらの出来事をすべて心に納めていた（ルカ2:51）

10月の「感ずべき御母」（Mater Admirabilis）の祝日にあたりこの言葉を選びました。聖書では、馬屋で生まれた幼子を見に羊飼いたちが拝みに来るという不思議な光景を、マリアは「心に納め思い巡らしていた」（ルカ2:19）と述べています。また、少年イエスが神殿で学者たちと話をしていて両親を心配させるという不可解な出来事の後にも、「マリアはこれらの出来事をすべて心に納め思い巡らしていた」（ルカ2:51）とあります。マリアはすぐには理解できない出来事をも静かに受け止め、そこに神のこころを感じようとしたのだと思います。

卒業生の皆様はどこの聖心の姉妹校にもある「感ずべき御母」の絵を思い出されるでしょう。若いマリアが静かに祈りのうちに「思い巡らして」いる姿です。私たちが在校中、この絵を通して学んだことは、心を静め、出来事の中に、目に見えないもの、物の奥にあるものを見ること、そして、自分の心の奥にささやかれる神の声を聴き、神のこころを感じとることだったと思います。

私たちの人生にはすぐに理解できない、またはいつになっても理解できないことがなんと多いことでしょう。「こんなことを神様はお許しになっているのだろうか」とさえ思うこともあります。今、世界中が体験しているこのパンデミックの中にも、神様が働いておられることを信じ、希望を持ち続け、前に進むためにもマリアのこの姿に倣いたいと思います。

メッセージ

私は、昨年の4月から札幌に移り、久しぶりに中高生とかかわることになりました。若い力から学ぶことが大いにあります。コロナ禍で学校では行事や学習活動の機会が今までとは違う形をとることを強いられています。彼女たちは生まれたときから日々進展していくテクノロジーの世界に浸っているわけですから、私たちの思いつかないこと、また到底持ちえない術を持っているのです。ですから、想像力を働かせ、創造力を使って、そして技術も使って、制限のある中で何かを作り上げていこうと工夫します。彼女たちのはちきれるような発想から繰り広げられるものに圧倒されます。ここに希望のしるしがあります。テクノロジーについていくのにアップアップしている年代の私たちであってもコロナ禍にあえぐ今の時、特に苦しい立場にある方々に思いを寄せ、想像力と創造力を生かして、自分に出来ることに努めていきたいものです。

もう一つ若い力から学んでいます。国連の掲げるSDGs（Sustainable Development Goals持続可能な開発目標）については、姉妹校の生徒たちはずいぶん前から熱心に学び、実行に励んでいます。彼女たちが実行しようとする具体的なアクションにも想像力と創造力が発揮され日常生活でできることから始めようというエネルギーを感じます。ここにも希望のしるしがあります。

SDGsは世の中一般では、少なくとも言葉だけは普及しています。でも、その基本理念の「誰一人取り残さない」ということが本当に理解されているかはわかりません。分断がますます深くなっていく世界の現実をみれば、その実現はまだまだ遠いように思わざるを得ません。しかし、実は、「どんな人も大切にされる—inclusiveな世界をめざす」ことは私たち一人ひとりにかかっているということを自覚することが大切だと思います。イエス・キリストはまさにどんな人をも受け入れ、寄り添って本当の“inclusive”な生き方をされました。すべての人が自分の場所を持つ社会、世界を作りたいと思えば、一人ひとりがこのイエスのみこころに倣って生きることではないでしょうか。自分と違うもの、考えに出会った時のとっさの反応が「排除」したくなる自分の心の傾きに気づきます。異質のものを取り除きたいという反応からどんなものも受け入れるという動きに自分を変えていくのは神様の恵みに頼るほかないでしょう。「感ずべき御母」の内省する姿を思い起こしながら、日々、出来事の中に働かれる神の力を信じ、恵みを願いながら進みたいものです。

Webサイト掲載年月:2021年11月

Profile

学校関係:不二聖心女子学院教諭、聖心女子大学非常勤講師、聖心女子学院校長、学校法人聖心女子学院理事。
聖心会:管区会計 管区長 総会計（ローマ本部）
現在は札幌聖心女子学院非常勤講師、修道院長、法人理事。

同窓会報告

各校の思い出の場所を
紹介いたします。

茂仁香会

会長 眞島 律子（茂13・真13）

札幌聖心女子学院は二〇二三年に開校六〇周年を迎えますが残念なことに二〇二五年三月の閉校が決定されました。学び舎はなくなっても茂仁香会は今後も親睦と社会貢献を目的に同窓会として存続いたします。

日本聖心同窓会の一員として今後もイエス様の御心により一つの家庭であるという認識のもとに皆様とともに歩んで参ります。どうぞよろしく願いいたします。

同窓会より齊藤校長にご寄付をお届けしました

思い出の場所

「ルルドとその奥の白樺の丘」です。校舎から少し離れたところにあり心を落ち着かせたい時や自分自身と向き合う時に足が向きます

みこころ会

会長 上野 愛子（み58・宮27）

昨年度に引き続き学院がコロナ感染防止対策に万全を期して臨まれていることに倣い、みこころ会も行事を減らしましたが、社会福祉部では各クラスの活動、寄付により、例年通りの施設への寄付をすることができ、会報も発行しました。また、今年度はご遺族の列席はなりませんでしたがお聖堂で追悼ミサを麻布教会の江部神父様に挙げていただき、幹事、役員で不二聖心に墓参に伺うことができ、活動の範囲が広がりつつあります。

思い出の場所

この御像の元で折に触れて友達とお喋りすると心が暖かくなる、と、お昼休みに通いました

江部神父様による追悼ミサ

不二聖心への墓参

三光会

副会長（会長代行） 矢野 康乃（み73・三英43）

二〇二一年度の三光会はコロナ禍のもと、中止する活動を嘆くことをやめ「絆を繋ぎ続ける」を掲げ、出来ることを進めました。前年を取り戻す為、特例で役員の任期を一年延長、メール、ライン、役員会議にズームシステムを導入しました。新様式として今後も継続利用することにより次期役員選出を首都圏在住者から全国へと広げられました。終刊していたニュースレターを臨時号として発行、三光会グッズの通信販売開始で会員との繋がりを再開できました。

オンライン月例役員会議（Zoom）

思い出の場所

通用門と呼ばれていましたが、専門学校生にとっては校門といえばこちらを思い出す方が多いでしょう

専門学校入口。「メモリアル校舎」のプレートが掲げられ、聖心女子学院の校舎として現役です

真理茂会

2020年3月末を以って休会。
お問い合わせはJASH Webサイトまで。

多様に、グローバルに、より良く生き抜く。

聖心女子学院 SACRED HEART SCHOOL
初等科・中等科・高等科
https://www.tky-sacred-heart.ed.jp/

教育活動の様子などは、本校のHP、FBをご覧ください。

札幌聖心女子学院 中学校・高等学校
〒064-8540 札幌市中央区宮の森２条16丁目10－1
TEL：011-611-9231 FAX：011-612-0980
URL https://spr-sacred-heart.ed.jp
FB https://www.facebook/SapporoSeishin/

［聖心ファミリー 姉妹校の輪］

語学校・ISSHアラムネ

会長 Mayling Woo Clements（I 81）

母校の建替プロジェクトを始める矢先、新型コロナによりプランを遅らせることを余儀なくされました。世界中に存在する同窓生は母校を「ふるさと」とも言います。歴史深い校舎の玄関へと続く登り坂、各クラスに向かう黄色いスパイラルの階段、休み時間に通り抜ける吹き抜け、ファミリーフェスティバルと卒業式に使われる体育館、全て私たちの思い出に残る映像です。短い期間でも聖心の教育が温かい環境を作り心に溢れる思い出を残してくれました。

思い出の場所

学校に続く坂

玄関からのスパイラルの階段

ドゥシェーン会

会長 高島 曜子（ド27・宮35）

引き続き活発な交流が憚られる中、同窓会の新しい形を模索する一年となりました。クラウド利用により情報の共有や意見交換、作業の分散・効率化が進み、居住地の離れた同窓生が楽しく活発に活動しています。またウエブサイトの全面リニューアルを行いました。お世話になったシスター、先生方からメッセージを頂き掲載させていただいています。ここに改めてお礼を申し上げます。

学院の行事「秋のつどい」には二年ぶりに参加いたしました。コロナ禍による参加人数や販売品目の制限がある中、東京・関西の両支部と工夫を凝らし心を込めて準備しました。学院の行事参加は二年ぶりでしたが、在校生の素晴らしい研究発表、またハード面での目を見張る発展を誇らしく思いながら秋の一日を楽しく過ごしました。

Zoom ミーティング

思い出の場所

広大な茶畑の向こうに悠然と在る富士山、まさにふたつとない「不二」聖心です

宮代会

会長 野本 敦子（小み48・宮30）

コロナ禍が続く中、二年度も残念ながら留学生昼食会は中止しましたが、宮代祭はオンラインでの開催となりました。姉妹校同窓会の皆様方にも多大なご協力を賜り、心より感謝申し上げます。追悼ミサは高祖学長司式の下、理事会メンバーのみでお捧げいたしました。一月には会誌『宮代』六十八号を発行。総会は書面と動画の録画配信にて開催いたしました。今後は、伝統への配慮と新しい日常への対応のバランスを大事にしていきたいと思っております。

オンライン宮代祭

宮代祭報告

追悼ミサ写真

思い出の場所

「マリアンホール」。入学式や卒業式、大事な行事が行われるのはいつもここでした

小林みこころ会

会長 中村 佳子（小み53・宮35）

今期も昨年同様新型コロナの影響による小林みこころ会総会の中止以降、緊急事態宣言に伴い同窓会館も閉館しておりました。十月にようやく開館できましたが、中止となった追悼ミサの代わりに、お御堂をお借りして、役員とシスター数名参加の〈お祈りの会〉を開催しました。クリスマスバザーも中止となりましたが、オンラインでの計画をしました。年明けからは通常通りの活動が再開できるよう期待しています。

思い出の場所

小林の信仰の象徴である感ずべき御母

誰もがこっそりお祈りした事のあるお御堂裏のピエタ

校門をくぐって真っ先にお迎えくださる「我に来たれ」の像

創立 99周年

小林聖心女子学院

2023年度 入学試験

【小学校 入試情報】
◇小1入試
◇転編入試
◇帰国子女・転居による年度途中の転編入については、ご相談ください。

【中学校 入試情報】
◇中1入試
◇転編入試
◇帰国子女転編入試

小林聖心 検索

富士山の裾野に広がる
21万坪のキャンパス

聖心女子大学

再び、学びの世界へ
詳細は公式 WEB サイトをご覧ください。

2021年度　JASHの1年

■定例役員会　毎月第2火曜日 全11回
■理事会　隔月第3火曜日 全6回
■臨時役員会　随時
■JASHグッズ販売
■古切手処理

2021

4
- 三光会総会（4月10日）中止のため不参加
- 茂仁香会総会（4月11日）書面開催のため不参加

5
- 茂仁香会東京支部総会（5月1日）書面開催のため不参加
- ドゥシェーン会総会（5月15日）書面開催のため不参加
- みこころ会総会（5月15日）書面開催のため不参加
- 小林みこころ会総会（5月22日）中止のため不参加
- 評議員会（5月25日）（Google Meetによるオンライン）出席
- 聖心インターナショナルスクール卒業式（2021年5月28日）縮小開催のため不参加

6
- 評議員会（6月1日）（Google Meetによるオンライン）出席
- 三光会チャリティーバザー（6月12日）中止のため不参加

7
- 第1回スタディグループZoomミーティング（7月17日）

9
- 第2回スタディグループZoomミーティング（8月31日、9月3日）
- 宮代祭（9月4日～9月30日）動画で参加
- AMASCニュースレターへの寄稿（9月15日）

10
- 第3回スタディグループZoomミーティング（10月1日、5日）
- 臨時評議員会（10月19日）（Google Meetによるオンライン）出席
- スタディグループ特別対談（10月30日）

11
- 第4回スタディグループZoomミーティング（11月2日、5日）
- 宮代会追悼ミサ（11月16日）非公開のため不参加
- 聖心会ミッショナリー雑司ヶ谷墓地墓参（11月16日）
- 小林みこころ会東京支部同窓会　中止のため不参加

12
- 第5回スタディグループZoomミーティング（12月7日、10日）
- Webサイトリニューアル及びスマホ対応化（12月24日）

【2021年度理事】

2022

1
- 茂仁香会新会員歓迎会JASH紹介動画貸出

2
- 第6回スタディグループZoomミーティング（2月1日、4日）
- 宮代会総会（2月26日）動画で参加
- 小林みこころ会新卒生歓迎会JASH紹介動画貸出
- ドゥシェーン会入会式JASH紹介動画貸出
- みこころ会新会員歓迎会JASH紹介動画貸出

3
- JASH-AMASC委員会対談（3月4日）
- 聖心女子大学卒業式縮小開催のため不参加（3月12日）
- 第36回「JASHの日」開催（一部オンライン）（3月15日）
- 評議員会（3月22日）（Google Meetによるオンライン）出席
- 第7回スタディグループZoomミーティング（3月29日）
- 「JASHだより」32号発行（3月31日）

2021年度 理事会メンバー

■JASH名誉会長	Sr. 宇野三惠子	（み54・宮23）
■聖心会代表	Sr. 田中玲子	（み44・宮13）
■JASH会長	村上　直子	（み59・宮28）
■JASH副会長	中込　伊都子	（三英27）
	山田　あけみ	（み60・宮29）
■JASH書記	川辺　祐香	（小み56・宮40）
	伊部　規子	（み76・宮45）
■JASH会計	藏原　由季子	（小み53・宮35）
	※蜂矢　淳子	（み64・宮33）（～12月28日）
■JASH監事	木村　惠子	（ド19・三英28）
	和田　美紀	（ド34・宮42）
■茂仁香会会長	眞島　律子	（茂13・真13）
■みこころ会会長	上野　愛子	（み58・宮27）
■三光会会長	大野　美稚子	（み72・三英42）（～8月5日）
■三光会副会長	矢野　康乃	（み73・三英43）（8月6日～三光会会長代行兼任）
■語学校・ISSHアラムネ会長	Mayling Woo Clements	（I'81）
■宮代会会長	野本　敦子	（小み48・宮30）
■ドゥシェーン会会長	高島　曜子	（ド27・宮35）
■小林みこころ会会長	中村　佳子	（小み53・宮35 ）
■茂仁香会東京支部長	柴田　貴美	（茂21・三44）
■小林みこころ会東京支部長	岡崎　有紀子	（小み58・宮40）
■ホスピタリティ委員会委員長	小泉　マヤ	（み62・宮31）
■JASH-AMASC委員会委員長	王　玲華	（み84・宮54）
■資料委員会委員長	吉川　富久子	（小み51・宮33）
■スタディグループ委員会委員長	小澤　志津子	（み57・宮26）

心よりお悔やみ申し上げます。
この2年間のJASHへのご尽力、ありがとうございました。

※蜂矢淳子（み64・宮33）
JASH会計（2020～）が2021年12月28日に逝去されました。

海外における「日本聖心同窓会（JASH）会員の集い」

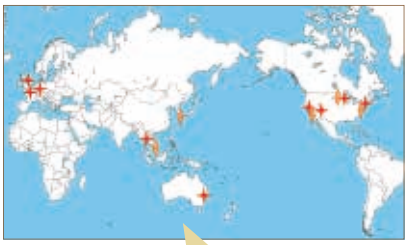
世界各地に日本の聖心同窓生が暮らし、地域ごとにグループを作って親睦を深め、助け合っています。その中でも、右記の地域には「JASH会員の集い」があり、JASHは代表者の連絡先を管理しています。また、宮代会海外支部（シンガポール、ワシントン、南カリフォルニア、シカゴ）でもJASH会員が一緒に活動しています。

海外生活を始める方は、渡航前に、ぜひJASHにお問い合わせください。

■海外「JASH 会員の集い」の所在地

アメリカ合衆国	ニューヨーク
	サンフランシスコ／ベイエリア
	シカゴ
	アリゾナ
英国	
フランス	パリ
ドイツ	
オーストラリア	シドニー
タイ	バンコク

※上記以外の地域で活動されている同窓生のグループがありましたら、JASHにご登録ください。「JASHだより」やJASH Web サイトで、グループの存在をJASH会員に広くお知らせし、新しく渡航される同窓生との橋渡しをします。
※各地の活動報告は、JASH Web サイトに掲載しています。


（2021年4月現在）

世界に広がるJASH会員の輪
あなたも繋がる!

①米国アリゾナ ②米国シカゴ
③米国ニューヨーク
④米国サンフランシスコ・ベイエリア
⑤ドイツ ⑥英国 ⑦仏・パリ
⑧豪・シドニー ⑨タイ・バンコク

宮代会海外支部
①シンガポール ②シカゴ
③ワシントン ④南カリフォルニア
⑤韓国（休会）

聖心会 みこころセンター
共に学び、祈り
分かち合う場
〒108-0072 東京都港区白金4-11-1
TEL-FAX：03-6277-2561
メール：rscjmikokoro.center@gmail.com
HP：http://www.m-sacred-heart.com/

学校法人聖心女子学院 生涯学習センター
「いつでも、どこでも、誰でも学べる」それが生涯学習です。
2021年1月からオンライン講座を始めました。
http://www.honbu-sacred-heart.jp/llc/

第36回 JASHの日

[2022. 3/15]

今年は3年ぶりの「JASHの日」の集い開催を予定していましたが、コロナ禍に対応し3月15日午前中の理事会を延長するかたちでの開催となりました。

万全の感染対策のもとに、出席者は、JASH名誉会長シスター宇野三恵子、聖心会代表シスター田中玲子、JASH役員、理事会で承認された新役員、各同窓会会長・東京支部長、各委員会委員長の限られた少人数でした。

JASH・各同窓会・各委員会・みこころセンター等の活動報告他はオンラインで行い、3月16日から27日にWebサイト上で配信いたしました。

村上直子、中込伊都子、川辺祐香、木村恵子は任期満了に伴い退任いたしました。

Web サイト配信の第 36 回「JASH の日」

JASH 名誉会長シスター宇野挨拶

理事会で活動報告をオンライン視聴中

2022年度 JASH役員

■会長	ラウリア 佳子	(み64・宮33)
■副会長	山田 あけみ	(み60・宮29)
	吉川 淳子	(み62・宮31)
■書記	伊部 規子	(み76・宮45)
	佐野 由佳	(ド28・宮36)
■会計	藏原 由季子	(小み53・宮35)
	太田 里架	(小み56・宮38)
■監事	和田 美紀	(ド34・宮42)
	上田 佳代子	(小み52・宮34)

from 資料委員会 お宝写真館

今回はカトラリーを紹介します。

①**ナイフ・フォーク・スプーンセット**
1958年小林聖心の小学校の入学時に支給された、カトラリーです。裏には個人名が丁寧に刻印されています。(本人の許可を得て掲載しています)

②**デザートナイフ・デザートフォーク**
1960年～1970年代頃に、寄宿舎で使用されました。
デザートの果物を切るときに使用しました。

③**小林聖心の寄宿舎で使用されたお皿**
1960年頃使用されたものです。

④**バターナイフとシュガースプーン**
年代不詳。三光町で使用されたと思われます。七宝焼きのブルーの聖心のマークがはいっています。

当時小林聖心の小学校では、給食は週 2 回。カトラリーは持ち帰り、ナプキン、各自のコップとともに持参しました。給食は洋食で、ナイフとフォークを使用して、食事のマナーも教わりました。デザートは楽しみでした。

資料委員会では、同窓生の方々からご寄贈頂ける資料(制服、学生時代に使用されたもの等)を募集しています。

■JASH ボランティア募集

【お手伝いいただく内容】
「JASHの日」などのイベント、翻訳、海外からの会員の案内、通訳、車での送迎、宿泊提供など。

JASHの活動のお手伝いをしてくださるボランティアを、常時募集しています。申し込みは、JASH Web サイト「JASHボランティア募集」よりどうぞ。

■古切手も集めています!

AMASCは各国の同窓生から古切手を集め、スペインの同窓会が古切手市場で換金して、AMASCの活動に役立てています。使用済切手の周囲を5ミリほどを残し、JASH事務室までお送りください。(未使用の切手も歓迎です。)

[シリーズ] 同窓会活動の場を訪ねて④ ドゥシェーン会室

2019年秋、ドゥシェーン会室は寄宿舎から現在の図書館棟のお部屋に移動しました。在学時より寄宿生が約半数を占め、卒業生も近隣在住者は限られているため、同窓会室を活動の場とすることは少なく、運営はオンラインが中心です。実活動は大自然に恵まれた21万坪という広大な自然の中で、お墓掃除や黙想会などを行っています。これら同窓会行事の際には、学院のご厚意により敷地内の山の家、マリア修道院をお借りしています。

山の家外観

ドゥシェーン会室

山の家内部

JASH だより
Japan Alumnae Association of the Sacred Heart
2022 No.32
jash316 検索

JASH Web サイト
JASHに関する情報をいち早く掲載しています。ぜひ、ご覧ください。
https://www.jash316.com/
▼ AMASC Web サイトはこちら
https://www.amasc-sacrecoeur.net

発行日 2022年3月31日
発行所 日本聖心同窓会(JASH)
発行人 村上直子
編 集 JASH役員
住 所 東京都渋谷区広尾4-3-1
聖心女子大学 JASH事務室
F A X 03-3407-0671
制 作 (株)梁プランニング

学校法人聖心女子学院教育ネットワーク
Sacred Heart Six Sister Schools
日本国内の聖心姉妹校のフェイスブックページをご存知ですか?ぜひご覧ください。
https://www.facebook.com/SeishinNetwork
学校行事など日頃の学校の様子やトピックスを中心に姉妹校6校の様々な情報を発信しています。